

YAMAKADO NEWSLETTER

NO.93

2007/08/23

山門水源の森を次の
世代に引き継ぐ会



受入団体多様化に悲鳴

PHOTO BY ITO

夏休みに入った「山門水源の森」は例年なら、散発的な来訪者の対応で事足りていたのだが……。今年は各種団体の来訪が相次ぎ、対応する会員も日程調整が大変という盛況ぶりである。

夏休みということもあり、伊丹市の先生方をはじめとする教員研修、地域の小学校の親子観察会、加えて保全活動も新たなプログラムを開発し、有料で保全活動と観察会をせた「コープしが」の催等が行われ、夏休み終了まで訪問団体が続く。更に更に今年から永原小学校の子どもた

「コープしが」企画の保全作業 (07/07/29)



PHOTO BY ITO

ちの自由研究も受け入れた。多種多様な研究テーマを持って訪れる子どもたちにどのように対応するか、最初は途



セイタカアワダチソウの根の長さの測定 (07/07/29)

子どもたちより一般来訪者が調査に興味 (07/07/29)



由研究中的子ともと会員 (07/08/06)

たす役割を改めて問い直させられる時間でもあった。期間中何回も子どもたちにお付き合い頂いた会員の皆様お疲れ様でした。猛暑の中でのこと、子どもたちも集中出来る時間が限られているためご苦勞もひときわだったと思います。

惑いつつも子どもたちの真剣さに惹かれ初期の目的は達成されたのではないかと感じている。また額に汗して自然を見つめる子どもたちを見て、一般来訪者が子どもたち以上に真剣に観察される場面に自

接して、本会の果

大学からの研究者 (07/08/16)





塩津小学校 6 年生「ひびきあい学習」(07/08/11)

伊香郡理科教育研究会現地研修 (07/08/02)
森コース」のコース沿いの草刈や「守護岩」周辺の下草刈り、コース中滑りやすい部分の階段設置、「やまかど・森の楽舎」の観察橋の防腐剤塗装、付属湿地の観察用敷石設置等々です。

PHOTO BY TAKEBATA

赤土露出部の階段施行作業 (07/08/18)



PHOTO BY ITO

急坂に階段設置 (07/08/12)

西浅井町の2つの小学校の子どもたちと保護者による「山門水源の森」の散策も実施され親子の触れあいの少ないことが世間では問題になって

いるが、下山した子どもも保護者も柔和な顔立ちで森のサービスの大きさを感じました。

もちろん教職員の野外研修会も他府県も含めて猛暑の中実施され、本会会員がいずれも案内しました。

こうした各種案内業務の合間を縫って森の保全作業も実施しました。

「ブナ」の森コース」のコース沿いの草刈や「守護岩」周辺の下草刈り、コース中滑りやすい部分の階段設置、「やまかど・森の楽舎」の観察橋の防腐剤塗装、付属湿地の観察用敷石設置等々です。

このうち「守護岩」近傍は、観察時の休憩場所として利用することが多いため広範囲に下草刈りを行っ

た結果、

この森で最も大株のブナを間近で観察出来るようになりました。階段設置によって安全性も高まりましたが、まだまだ必要箇所があり課題は山積みです。



永原小学校 親子フォーラム (07/07/22)



下草刈りで露見したブナの大株 (07/07/24)

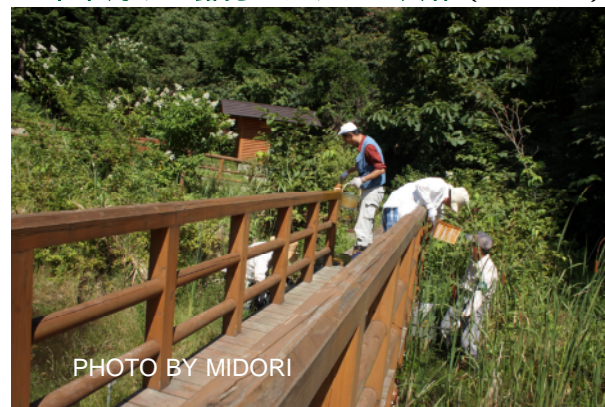


PHOTO BY MIDORI

観察橋の防腐剤塗装 (07/08/18)



付属湿地に近接観察用敷石設置 (07/08/20)